

麻しん（はしか）の患者の発生について

相模原市在住の30歳代の女性が、令和8年3月20日に麻しんと診断されました。

当該患者の疫学調査を行った結果、他の人に麻しんを感染させる可能性がある期間（感染可能期間）に、公共交通機関や施設を利用していたことが判明しましたので、お知らせします。

1 感染可能期間内に患者が利用した交通機関

【令和8年3月14日（土）】

JR総武線 浅草橋駅（20時00分頃）→御茶ノ水駅（20時05分頃）

JR中央線 御茶ノ水駅（20時10分頃）→新宿駅（20時20分頃）

小田急小田原線 新宿駅（20時20分頃）→秦野駅（21時30分頃）

【令和8年3月15日（日）】

神奈川中央交通 渋沢駅（11時40分頃）→富士見町入口（12時00分頃）

【令和8年3月16日（月）】

小田急小田原線 秦野駅（10時20分頃）→新宿駅（11時20分頃）

東京メトロ丸ノ内線 新宿駅（17時00分頃）→銀座駅（17時20分頃）

東京メトロ日比谷線 銀座駅（21時00分頃）→日比谷駅（21時05分頃）

東京メトロ千代田線 日比谷駅（21時10分頃）

→代々木上原駅（21時20分頃）

小田急小田原線 代々木上原駅（21時30分頃）

→秦野駅（22時30分頃）

【令和8年3月17日（火）】

小田急小田原線 秦野駅（8時50分頃）→相模大野駅（9時20分頃）

小田急小田原線 相模大野駅（18時00分頃）→新宿駅（18時40分頃）

JR中央線 新宿駅（18時40分頃）→御茶ノ水駅（18時50分頃）

JR総武線 御茶ノ水駅（19時00分頃）→浅草橋駅（19時05分頃）

【令和8年3月19日（木）】

JR総武線 浅草橋駅（20時30分頃）→御茶ノ水駅（20時40分頃）

JR中央線 御茶ノ水駅（20時40分頃）→新宿駅（20時50分頃）

小田急小田原線 新宿駅（21時00分頃）→相模大野駅（21時40分頃）

※鉄道会社等へのお問い合わせは、御遠慮くださいますようお願いいたします。

2 感染可能期間内に患者が利用した施設

【令和8年3月16日（月）】

利用施設：新宿サブナード

時間帯：11時00分頃～16時00分頃

利用施設：GinzaNovo

時間帯：17時20分頃～21時00分頃

※施設等へのお問い合わせは、御遠慮くださいますようお願いいたします。

3 患者の概要

30歳代 女性

主な症状：発熱、咳、鼻汁、コプリック斑、発疹

麻しん予防接種歴：不明 海外渡航歴：なし

4 経過

令和8年3月15日（日）発熱あり

3月18日（水）都内医療機関を受診

3月19日（木）麻しん疑いで都内保健所に届出

3月20日（金）検査にて診断確定

5 麻しんの発生動向について（本件含まず） ※1

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
相模原市	4	0	0	0	0	0	2	1
全国	744	10	6	6	28	45	265 ^{※2}	100 ^{※2}

※1 接触者が特定できており、不特定多数が感染する可能性が低いため、個別の発表をしていない事例も含まれます。

※2 令和8年3月11日時点の暫定値（国立健康危機管理研究機構）

【市民の皆様へ（注意喚起）】

- ・発熱、発疹等の症状から麻しんを疑う症状（別紙）が現れた場合は、事前に医療機関に電話連絡の上、指示に従い受診してください。また、移動の際は、周囲への感染を拡げないように、公共交通機関等の利用を避けてください。
- ・麻しん風しん混合ワクチン(MRワクチン)の定期接種(1歳と小学校入学前)がお済みでない人は、接種を検討してください。
- ・御心配なこと等がありましたら、市保健所へ御連絡ください。

【医療機関の皆様へ】

- ・麻しんを疑う患者を診察する際は、院内感染対策を実施いただくとともに、予防接種歴や渡航歴の確認等をお願いします。
- ・臨床症状等から麻しんと診断した場合は、速やかに市保健所へ御連絡ください。

※報道機関各位におかれましては、プライバシー保護等の観点から、患者及び患者家族等が特定されないことがないように、格段の御配慮をお願いいたします。

問い合わせ先

健康福祉局保健衛生部疾病対策課

電話 042-769-7201

麻疹(はしか)に注意しましょう！！

麻疹とは？

麻疹ウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症で、空気感染、飛沫感染、接触感染により、人から人に感染が伝播します。その感染力は非常に強いと言われており、免疫を持っていない人が感染するとほぼ 100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)の五類(全数届出)感染症に位置づけられています。

◇症状

感染すると約10～12日の潜伏期間の後、38℃前後の発熱が2～4日続き、咳、鼻水といった風邪のような症状が出ます。
その後、少し体温が下がり、再び高熱(多くは39℃以上)が出るとともに、発疹が出現します。発疹出現後3～4日間で解熱し症状は軽快、合併症のない限り7～10日後には症状が回復します。

◇感染経路

空気感染、飛沫感染、接触感染

◇麻疹の症状が出たら、電話をしてから医療機関を受診しましょう。

医療機関を受診の際には、事前に連絡を入れ、マスク着用のうえ受診してください。また、公共交通機関の利用は控えてください。

◇麻疹と診断されたらすぐ連絡しましょう。

医療機関等で麻疹と診断された場合は、学校や幼稚園、保育所、職場等に速やかに連絡し、医療機関の指示のとおり自宅で療養してください。

◇定期予防接種(MRワクチン等)を受けましょう。

第1期(1歳の間)、第2期(小学校就学前の1年)の2回接種が必要です。母子手帳などを確認し、り患歴やワクチン接種歴を確認しましょう！

◇麻疹の免疫を持っているか知りましょう。

麻疹にかかったことがない方や麻疹ワクチン接種をしていない方、接種が1回だけの方(30歳代半ば～50歳代前半)は、十分な免疫を獲得していない可能性があるため注意が必要です。

<相談・問い合わせ先> 相模原市保健所疾病対策課 042-769-7201